

令和3年度 第2回学校評議員会 記録

R3. 11. 8

<参加者> 評議員 和久田勝也 様 (浜名学園組合事務局長)
 柴田 詩子 様 (湖西市民生委員主任児童委員)
 辻村文美子 様 (湖西市教育委員会学校教育課指導主事)
 疋田 隆 様 (地域代表)
 原田 優子 様 (プライムアースE Vエナジー株式会社)

学校関係者 校長、副校長、事務長、小部主事、中部主事、高部主事、
 総務課長、教務主任、PTA会長

1 開会の言葉 (副校長)

2 校長挨拶

- ・委嘱状の伝達 和久田様
- ・今年度もコロナ対策をした上で、4月からの教育活動を進めることができている。
- ・最近の行事としては、運動会を学部・グループ毎の4つに分かれて実施。高等部を除いては、感染症対策をした上で保護者の参観も行った。保護者参観のなかった高等部は、YouTube で動画配信を実施。中学部の運動会では、外部講師に指導していただいたダンスを披露するなど、外部の方との連携も行っている。
- ・地域とのつながりが本日のテーマ。令和4年度より学校運営協議会として、委員の方と一緒に学校をつくりあげ、地域も学校もともに活性化していきたい。忌憚のない御意見を伺いたい。

3 本年度の取り組み報告 (各部主事)

「地域とつながる活動推進」 学校経営計画の取組目標より
 地域との交流が生まれる学習活動の実施

(1) 学校周辺の自然や地域の素材を生かした実践

	場所	学習活動
小学部	ビオトープ	生き物や植物の観察、学校を知る →3年生 ウォットへの見学にもつなげる
	学校の裏山	図工や生活単元学習等で自然素材の収集、素材で楽器づくり
	畑	高等部農耕班の畑で収穫体験、他学部職員から畑づくりの指導
	学校周辺 (中・高も)	交通安全教室、自動販売機・お店での買い物学習 地域の方に挨拶、お礼の手紙(小)
中学部	学校周辺	周辺を歩いて防災マップ作り、命山への校外学習
	学校周辺	地域のごみ集積場の見学、湖西市環境センターへの校外学習
	学校周辺	奉仕作業 (ごみ集め・石拾い) 地域のスポーツ施設

	場所	学習活動
高等部	畳店	いただいた畳表で手筒花火の花瓶づくり、作り方の指導
	前向花畑	NPO法人と一緒に畑の整備
	近隣の高校	窓ふき、掃除
	ジャンボ・エンチャー	店長や店員から作業製品に対するアドバイスをいただく

地域の方が協力的で、コロナ禍でもいろいろな活動ができた。人的・物的資源を活用し、地域とともに特色ある学校づくりができたらと考えている。

(2) 今後取り組んでみたいこと

ア 防災学習

- ・地域の人たちと一緒にできたらよい。
- ・子どもたちのことを知ってもらおう。(パニックの状況や元気に遊ぶ姿)
- ・高等部の生徒が手伝えることを見い出したい。(物資の運搬や配布)

イ 作業製品の販路拡大

- ・地域のイベントに参加。
- ・宣伝(ちらし配り)と受注販売。製品へのアイデアをいただきたい。

ウ 地域の清掃

- ・地域の人や幼稚園、小・中学生と一緒に行動。
- ・公民館や神社などの清掃、定期的に行う機会があるとよい。

エ その他

- ・湖西市の支援級の友達との交流会に混ぜてもらえるとよい。
- ・学区の支援級の児童が、こちらの授業に参加するようなことができるとよい。

4 感想・提言

(A委員)・以前、自治会で海風祭のバザーに来たときに、教室での表情とは違った子どもたちの明るい表情を見ることができた。コロナの状況が改善されてきているので、今後、そのような機会が増えるとよい。挨拶だけでなく、子どもたちと話ができる機会があるとよい。

- ・地域とのつながりは広い視野でやれるようになってほしい。

(B委員)・幼稚園、保育園での経験から、小学部の取り組みと共通するものが多いと感じる。

- ・保育園で避難訓練を行ったときに、乳母車での移動や子どもたちを背負って避難をするため、通り沿いの方々に参加していただき、サポートをもらった。
- ・農家の人に来ていただき、園の畑づくりを行った。種まきから収穫、そこから芋切干を作るなどの経験もできた。
- ・競艇の選手や消防士に来園していただき交流をすることで、その職業への興味や憧れをもってもらえるなどの取り組みも行った。

- (C委員)・湖西市立小中学校では、校外学習や職業体験など、この2年間、まだできていない状況。
- ・12月の地域防災訓練は中学生が参加しているが、今年度は地域の状況に合わせてとなる。
 - ・交流籍校での交流については、コロナが収まったら、直接交流を行いたい。
 - ・産業振興課で紹介している企業等の出前授業や見学のリストを活用している。
→本校からも問い合わせは可能か。
→確認してみる。
- (D委員)・浜名学園と地域とのつながりは、夏祭り、浜名湖クリーン作戦、総合防災訓練、もちつき大会、クリスマス会の演奏などがあるが、昨年からできていない。
- まずは、これらを取り戻すところからになる。
- ・学校の作業製品の販路拡大で、昨年、パソコンラックや小物入れを購入した。他の職員にも勧めたい。今年度はどうか。
→同じ製品は作っていないが、学部伝えておく。
- (PTA会長)・廊下に枝を使った素敵な作品が飾られていた。→高等部生徒が作業で集めた枝を使って、小学部児童が制作したもの。
- ・最近、地震が多いので、学校での避難訓練や防災学習は引き続き行ってほしい。保護者と離れている時間も、子どもたちが安心して過ごすことができるようにと思う。
 - ・コロナの影響で地域の草取りが中止になっている。地域の方との交流がなくなってしまう、今になって重要な機会だったと気付いた。
 - ・新しいことをするのではなく、今までの生活で大事にしていたことを取り戻したい。外に出て、手で何か触れることがとても大事だったと感じる。
→数年前にやっていたことを振り返って、見直す、取り戻すことが大事だと再認識した。
- (A委員)・今までやってきたことを見直す際に、他校にも見に行つて少しでも良いところを取り入れてほしい。研修も同じだと感じる。
- いろいろ見に行き、製品づくりなどに取り入れたい。
- (校長)・高等部が2月にイオンでの作業製品販売を考えている。学校に人を集めることは、現段階ではまだ難しい。製品を置いてもらえるところがあるとうれしい。
- (高主事)・農作物を使っただけのお店があるとよい。収穫できるときとできないときがあり、深いかかわりの中で販売できるとうれしい。
- ・作業製品のちらしを回覧していただくことは可能か。
→(疋田様) 枚数があれば配ることも可能。海風祭があればよいが。関わりをもつことができるとよい。ゲーム性があるものも楽しめるのでは。
- (校長)・今年度の防災訓練は、どのように行うか。
- (疋田様) 今年、各自主防災会の自主性に任せているとの市からの回答だった。同じことでもマンネリではなく、新しい人たちもいるので経験すること、慣れておくことが大事。
- ・学校に避難所を開設する際、現在は可能か不可かを遠くからも見えるように体育館から垂れ幕で知らせることを検討している。

5 お礼の言葉（校長）

- ・リモートでの不手際があり、申し訳なかった。原田様の御意見は、皆様に後日お知らせをする。ICT環境も整備していきたい。
- ・これまでの、地域の人とのつながりで学習してきたことを「取り戻す」「見直す」ことをしていきたい。今までのことを知る職員が減ってきているのが悩ましい。
- ・学校運営協議会が令和4年度から始まる。この会議だけでなく、普段から御意見を伺っていきたい。

6 閉式の言葉（副校長）

7 後日、いただいた感想・御意見
（F委員）

- ・コロナのことがあるが、積極的にいろいろなところに出かけていると思う。
- ・子どもたちのことを知ってもらうことは重要である。地域に出て行っていることを知ってもらわないと、何も始まらない。しかし、出ていくだけでは、知ってもらうことにならない。どう接したらよいか分からない人もいるし、パニックにさせてしまったらどうしようと不安に思う人もいる。障害の特性を知ってもらうことで、コミュニケーションが取れるようになる。そうすることが、地域とのつながりができていくのではないかと思う。